

## 原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (2019年4月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2019年4月に適用する1<sup>m</sup>当たりの単位料金を、2019年3月検針分に適用の料金に比べ0.51円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2019年4月検針分の単位料金は、2018年11月から2019年1月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32<sup>m</sup>(45MJ/<sup>m</sup>)のガスをお使いになる標準家庭で、2019年3月検針分に比較して、17円(消費税込)ガス料金が下がります。

### 供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/ <sup>m</sup> )		基準単位料金 (円/ <sup>m</sup> )
			2019年4月適用 単位料金(円/ <sup>m</sup> )	2019年3月適用 単位料金(円/ <sup>m</sup> )	
料金表A	0 <sup>m</sup> から20 <sup>m</sup> まで	799	182.61	183.12	157.09
料金表B	20 <sup>m</sup> をこえ50 <sup>m</sup> まで	1,305	157.28	157.79	131.76
料金表C	50 <sup>m</sup> をこえ200 <sup>m</sup> まで	1,602	151.34	151.85	125.82
料金表D	200 <sup>m</sup> をこえ450 <sup>m</sup> まで	3,155	143.58	144.09	118.06
料金表E	450 <sup>m</sup> をこえ750 <sup>m</sup> まで	5,303	138.80	139.31	113.28
料金表F	750 <sup>m</sup> をこえるもの	10,649	131.68	132.19	106.16

### 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2019年4月検針分の料金	2019年3月検針分の料金	影響額
32 <sup>m</sup> (45MJ/ <sup>m</sup> )	6,337円	6,354円	▲17円

### 原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2018年11月～2019年1月の 平均原料価格 (b)	65,090 円/t
LNG価格	64,460 円/t
LPG価格	61,530 円/t
差 額 (b-a)	30,390 円/t

[ 参 考 ]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	64,460 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	61,530 円/t	×	0.0513
			<hr/>		
			65,089.657 円		
				↓ (10円未満四捨五入)	
			65,090 円/t	<hr/>	

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$65,090 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 30,390 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$30,300 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 30,300 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 25.52472 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$25.52 \text{ 円}$$